



防災会からのお知らせ

～住むまちを みんなで守る 地域の輪～

9月1日の「防災の日」は、今から79年前の大正12年に、関東大震災が発生した日です。この日を中心とする防災週間には全国的に防災に関する行事が開催され防災訓練などが行われます。この時期を捉え、皆さん一人ひとりがもう一度身の周りで起こる災害について考え、「自らの生命は自らが守る」また、「自分のまちは自分が守る」という防災意識のもと、地震が発生した時でも適切な行動がとれるよう以下の点に注意し防災行動力を高めましょう。

- ・わが家の安全点検をしましょう。
- ・家の周りを確認しましょう。
- ・自分の住んでいる地域はどのような特性があり
どういう危険があるか調べましょう。
- ・家具が倒れないようにしましょう。



阪神・淡路大震災でも、家具の転倒や落下によって多数の人が負傷しました。震度5（強）以上になると書棚の本や、テレビ、タンスなどの重い家具が倒れることもあります。家具類は、L字型金具などの転倒防止器具で、丈夫な柱や壁にしっかり固定しましょう。

- ・避難路を確保しましょう。

“いざ”というとき迅速な避難ができるよう廊下などに、避難の障害となる荷物などを置くのはやめましょう。

災害は忘れた頃にやってくる